

令和 7 年度 おでかけ町政座談会



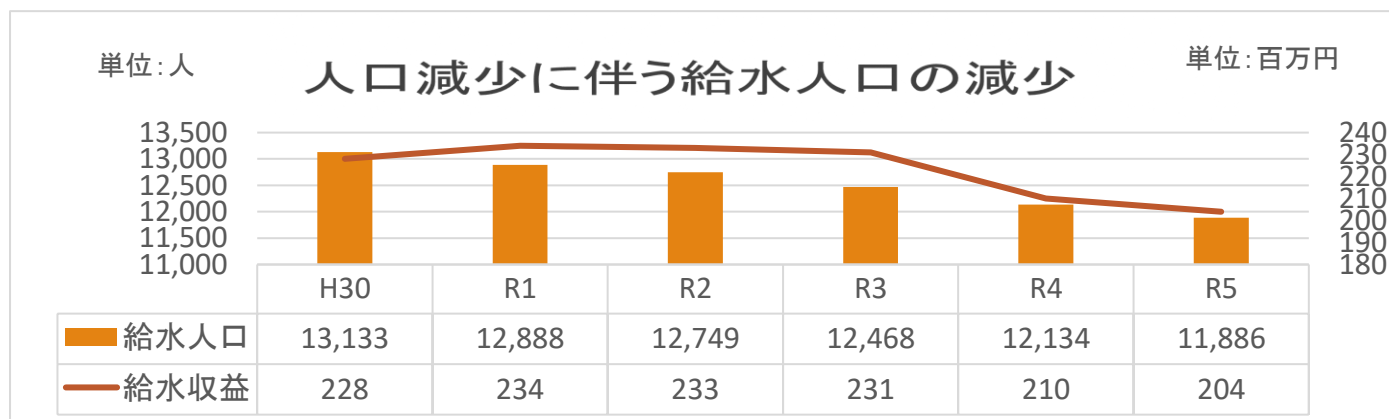
【主な内容】

1. 水道料金改定について
2. 統合小学校及び児童館新築事業について
3. 避難所用備蓄について

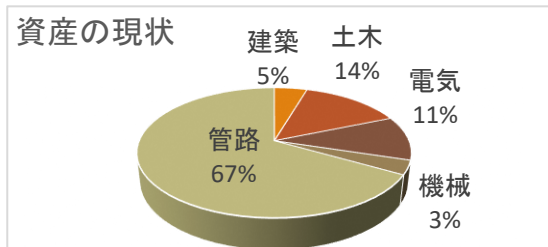
開催日： 6月21日(土)、24日(火)
26日(木)、27日(金)

1.水道料金改定について

(1) 水道事業の現状について



項目	評価尺度
健全資産	経過年数が法定耐用年数以内の資産
経年化資産	経過年数が法定耐用年数を超え、1.5倍以内の資産
老朽化資産	経過年数が法定耐用年数の1.5倍を超える資産



区分	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
健全資産	61.8%	59.2%	57.5%	55.1%	53.5%	53.1%	52.9%	52.2%	52.0%
経年化資産	10.6%	12.6%	13.9%	16.0%	16.6%	16.5%	16.1%	16.2%	16.2%
老朽化資産	27.6%	28.2%	26.6%	28.8%	29.8%	30.4%	31.0%	31.6%	31.8%

(2) 財政見通し

●水道料金改定を行わなかった場合の財政見通し（R7以降平準化）

	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
損益	▲1,462千円	▲2,924千円	▲14,934千円	▲22,607千円	▲32,438千円	▲41,304千円	▲52,986千円

(3) 一般家庭におけるシミュレーション

人数	水量	水道料金(税込み)		差額
		改定前	改定後	
1	10m ³	1,320円	1,496円	176円
2	20m ³	3,080円	3,486円	406円
3	26m ³	4,136円	4,680円	544円
4	32m ³	5,192円	5,874円	682円
5	40m ³	6,600円	7,466円	866円
6	43m ³	7,128円	8,063円	935円
7	48m ³	8,008円	9,058円	1,050円

(4) 青森県内他市町村との比較について

●用途別で料金設定している青森県内市町村の10m³あたりの水道料金は下表のとおり。

	野辺地町 (改定後)	平内町	鰺ヶ沢町	深浦町	藤崎町	田舎館村	板柳町
料金	1,496円	2,409円	2,723円	2,530円	2,728円	2,572円	2,515円

	鶴田町	中泊町	七戸町	東北町	大間町	津軽広域水道事業団(西北)
料金	2,376円	3,047円	1,800円	2,310円	2,475円	2,959円

(5) 料金改定シミュレーション

条件

- 当年度純利益がマイナスになる見込みの年に料金改定を行う。
- 10年以内に資金残高4億円とし、それを維持する。
- 3年～5年の間に料金改定を行う。(日本水道協会推奨期間)

3年毎に料金改定を実施し、2034年に資金残高4億円とする場合

	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
資金残高(千円)	211,587	224,378	244,058	249,140	293,001	291,993	305,191	368,511	376,908	389,887	406,769
損益(千円)	▲1,462	10,767	12,341	4,861	30,317	22,095	11,063	58,768	46,389	34,280	24,776
料金改定率		13%UP			15%UP (見込み)			22%UP (見込み)			
基本料金(円)	1,320	1,496	1,496	1,496	1,720	1,720	1,720	2,098	2,098	2,098	2,098

2. 統合小学校及び児童館新築事業について

(1) 統合小学校について

◆統合小学校新築事業基本構想（令和6年5月策定）及び簡易公募型競争入札方式における技術提案の内容に基づき、『安心・安全で思いやりのある学校』・『子どもが主役の学校』・『地域とともにある学校』の3つのコンセプトに沿って基本設計をまとめました。

建設地 野辺地町字 寺ノ沢 地内（現・野小グラウンド）

敷地面積 約 30,734 m²（うち児童館分 約 1,735 m²）

延床面積 校舎 約 4,869 m²
（1階 約 2,648 m²、2階 約 2,221 m²）

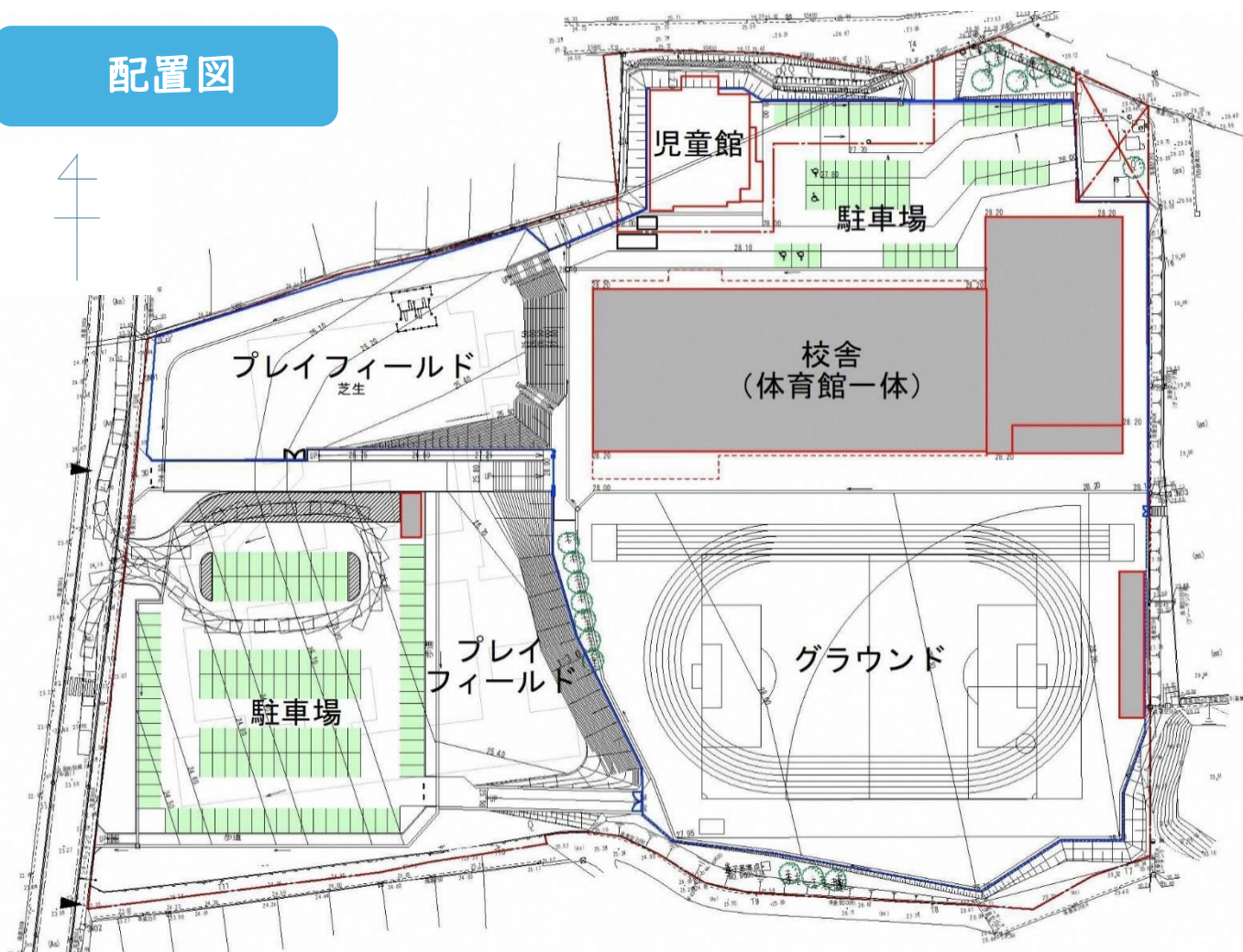
体育館 約 1,364 m²

児童館 約 483 m²

構造 校舎・講堂 鉄筋コンクリート造
児童館 木造

駐車場 計 180 台
（北側駐車場 51 台、西側駐車場 129 台）

配置図

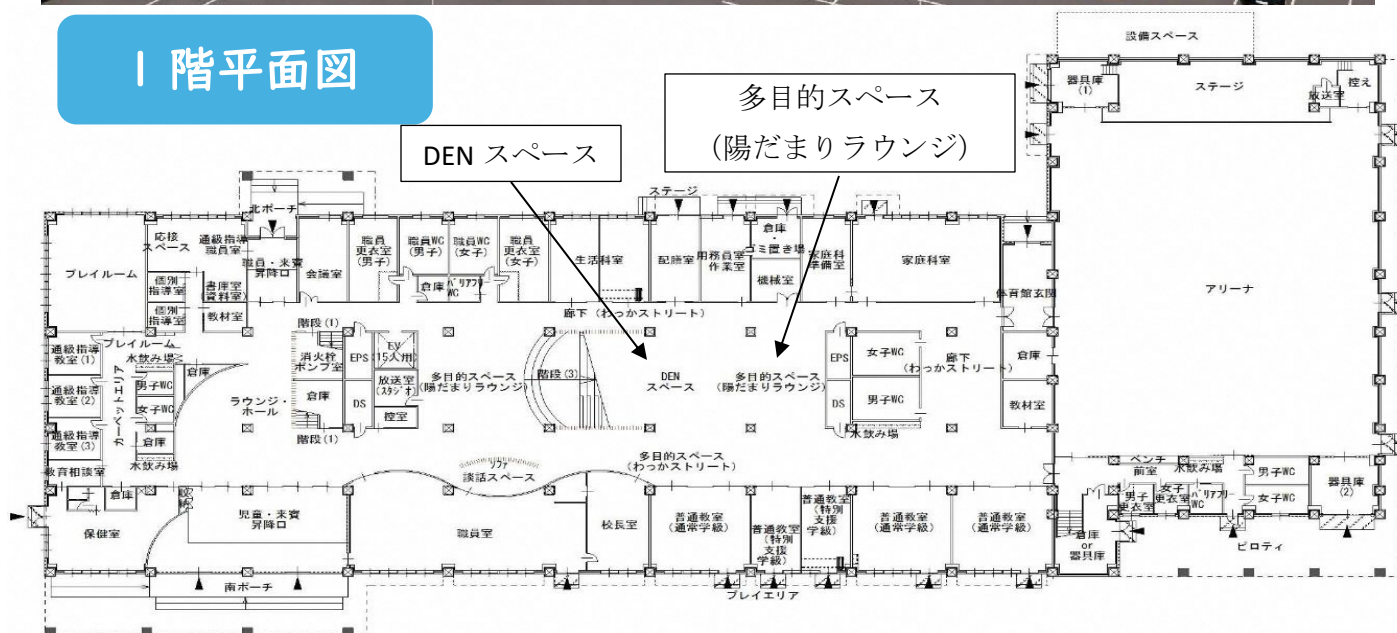


歴史を重んじながら、子供たちが集う拠点として、町民全体が守り育む学校を築き、地域の発展と団結の象徴とし、野辺地町の中心地に新たな小学校「みんなで創る新しい学校」を実現します。

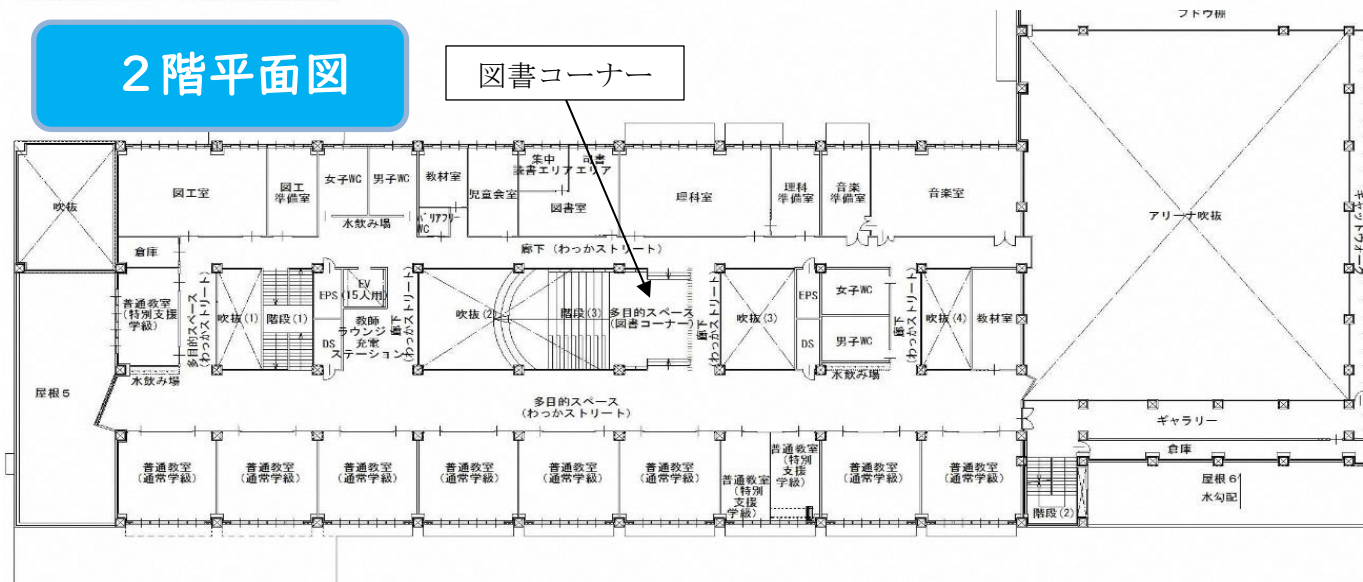


DEN スペース

多目的スペース
(陽だまりラウンジ)



図書コーナー

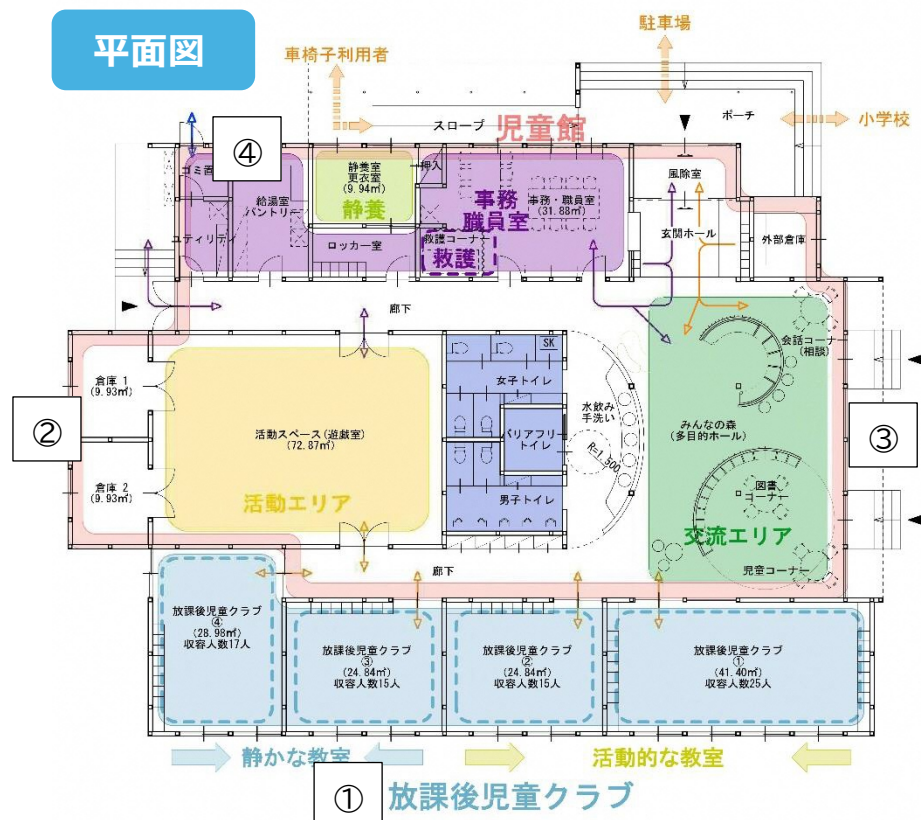


(2) 児童館について

◆統合小学校建設に伴い、現在、余裕教室で実施している放課後児童クラブの実施方法について検討する必要が生じ、小学校検討委員会に諮ったところ、校舎内ではなく別棟が望ましいとの検討結果となりました。

このことから、利用者やその保護者の利便性も考慮し、児童館機能と放課後児童クラブ機能を集約した児童館を統合小学校の敷地内に整備することといたしました。

平面図



- ①放課後児童クラブエリア
- ②活動スペース（遊戯室）エリア
- ③多目的ホール（みんなの森）エリア
- ④事務・職員室エリア

①放課後児童クラブエリア

- ・70人収容の放課後児童クラブ専用室を西側に設け、将来的な人数減少や使い方の多様性を見据え、異なる広さの部屋を用意して柔軟に対応できる空間として計画します。
- ・静かな環境が求められる場所と活動が活発な場所との音の干渉を避ける配置を考慮します。

②活動スペース（遊戯室）エリア

- ・児童が活発に遊びながら身体を動かすことができる空間です。
- ・音を気にすることなく、思い切り楽しめる環境を提供し、児童同士が気兼ねなく交流できる場として計画します。

③多目的ホール（みんなの森）エリア

- ・多目的ホールは、誰もが気軽に集い、交流できる温かみのある空間として計画します。
- ・ベンチやソファが配置され、座って本を読んだり、会話を楽しんだり、絵を描いたりと思い思いに過ごせます。
- ・お迎えの待合として利用でき、明るく楽しい雰囲気の中で心地のよい時間を提供します。

④事務・職員室エリア

- ・主玄関に隣接し、外来対応や受付がスムーズに行える配置として計画します。
- ・駐車場を見渡せる位置にあり、放課後に児童が到着する様子を見守れるよう安全管理ができるように計画します。

(3) 事業スケジュール及び事業費について

ア. 事業スケジュール

R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
実施設計			
	建設工事		

※基本設計終了時のスケジュールとなります。統合小学校及び児童館の建設スケジュール等の詳細については、現在実施設計を進めている中で検討しています。

イ. 事業費

No.	項 目	基本設計における想定事業費	事業費に対する財源（千円）		
		概算金額（千円）	国庫補助金 （文部科学省）	地方債	一般財源
校舎等（校舎、屋内運動場、通級指導教室棟）					
Ⅰ 工事費					
1	校舎等新築工事 《内訳》	4,874,960	1,291,463	3,543,100	40,397
	校舎（通級・外構含む）	《内訳》	《内訳》	《内訳》	《内訳》
	屋内運動場	3,058,480	794,112	2,264,200	168
	グラウンド	900,000	237,535	662,300	165
	既存校舎解体・駐車場整備	150,000	20,000	90,000	40,000
	擁壁工事、造成工事	689,480	239,816	449,600	64
		77,000	0	77,000	0
2	その他関連工事費（プール・SL等解体、樹木伐採ほか）	165,520	0	135,500	30,020
	小 計	5,040,480	1,291,463	3,678,600	70,417
Ⅱ 設計・工事監理費		259,069	0	205,400	53,669
Ⅲ その他事業費		119,573	0	18,000	101,573
合 計		5,419,122	1,291,463	3,902,000	225,659
児童館（放課後児童クラブ棟） ※工事、設計業務等					
合 計		288,949	0	284,300	4,649
総 合 計		5,708,071	1,291,463	4,186,300	230,308

【町民皆様方の御理解と御協力について（原子力立地給付金相当額の活用）】

総事業費は約 57 億円を見込んでいます。国からの補助金が約 12 億 9 千万円、地方債が約 41 億 8 千万円及び町の自主的な財源は約 2 億 3 千万円となりますが、地方債償還の一部(元利償還金※の 70%)は、国の支援となり地方交付税に算入されますので、実質的な町の負担額は約 18 億 5 千万円(地方債元利償還金の 30%約 16 億 2 千万円＋町財源分約 2 億 3 千万円)と試算されます。

※元利償還金…元金と利子を合わせた返済金

町としては、将来の財政運営に大きな影響を及ぼさないよう、新庁舎建設事業と同様に「原子力立地給付金相当額」を活用させていただき、町民の皆様方と共に『将来を担う、野辺地っ子』が学び合う、統合小学校新築事業の実現を図って参りたいと考えています。

3. 避難所用備蓄について

避難所開設時の生活環境改善を目的とし、国の交付金事業を活用し、避難所用備蓄品を購入整備することといたしました。

(1) 事業の概要

今回、町が活用する国の交付金事業は、「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」事業であります。

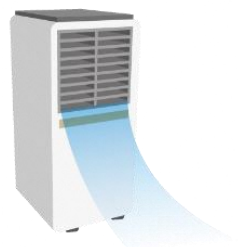
この事業は、避難所の生活環境改善及び防災・減災に必要な資機材について、地方公共団体が地域経済の活性化や住民の防災意識の浸透等に向けた平時の利活用も含めて検討し、整備することを支援するための交付金事業であり、町はこの交付金事業を活用し、避難所用備蓄品を購入整備することとしました。

(2) 野辺地町が今回の交付金事業を活用して整備する備蓄品等

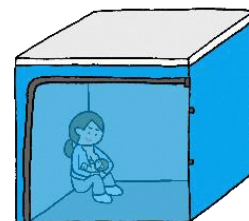
- | | |
|----------------|--------|
| ① ワンタッチ折り畳みベッド | (200台) |
| ② スポットクーラー | (50台) |
| ③ リヤカー | (8台) |
| ④ 台車 | (8台) |
| ⑤ ペットサークル | (8台) |
| ⑥ 避難所開設キット | (8台) |
| ⑦ クイックパーティション | (14張) |
| ⑧ 簡易トイレ | (61台) |
| ⑨ 防災倉庫 | (1棟) |
| ⑩ シャワー設備 | (6台) |



折り畳みベッド



スポットクーラー



パーティション

(3) 事業費等

総事業費は約8,000万円であり、うち国の補助が1/2、町の負担分については、交付税措置のある起債を活用します。

(4) 今後の予定

本年12月末の納品を予定しており、納品後は、町の防災訓練等で実際に使用してみるなど、避難所開設時の使用に備えることとしています。